

なすび

目次

1p	園長挨拶
1p~3p	職員紹介
3p~4p	行事報告
4p	部活動報告
	今後の予定
	編集後記

栃木県那須学園
〒329-2132
矢板市沢800
TEL 0287-43-0573
FAX 0287-43-6886
メール nasu-gakuen
@pref.tochigi.lg.jp
発行日 令和4年6月27日

特集

新たな職員、分校教員を迎え、

新体制で令和四年度のスタートを

切りました。職員ひとりひとりの

挨拶から、今年度の「なすび」を

始めさせて頂きます。

◎令和四年度を迎えて〜園長挨拶〜

大島 登

園長二年目になりました。本学園は明治四一年の感化院開設に伴い農事試験場分場の土地等を引き継いだ経過もあることから、7ヘクタールに及ぶ敷地内は水田をはじめ季節ごとに装いを変える樹木や花々に彩られています。ここでは、養育環境をはじめ様々な困難を抱える子ども達が、整えられた環境下で生活に係わる指導や学校教育を受けながら集団生活を通して自立に向け成長していきます。新型コロナの影響により例年五月に開催される地元自治会との

合同運動会は三年間実施できない状況になっており、関東児童自立支援施設協議会の振興事業として実施している各種大会（野球、水泳、バレー、卓球、文化祭）も昨年度は一部を除き中止が相次ぎましたが、今後は社会全体が正常化に向けて本格的に動き出すことを期待しているところです。昨年度は十数名の児童が進学等により学園を離れ、今年度は例年に比べ少人数で九名の子とも達とともにスタートしました。子ども達

がここでの生活を生かして、今後の人生を力強く歩んでいけるよう、組織の基本方針である「子どもの権利擁護と人格の尊重」、「子どもの自立支援と保護」、「学校教育との連携・協働」等を常に意識し、関係各位の御指導を賜りながら、職員が丸となり組織的な支援に取り組みたいと思っています。

◎職員紹介

☆総務課☆

菊地 明則（園長補佐兼総務課長）
総務課長の仕事も二年目になりました。どんな生徒と話しかけることがなくなり淋しいかぎりですが、今年も学園が平和であることを願い、遠くから見守りたいと思います。

川島 陽子（総務課副主幹）

今年も事務を担当させて頂いていただきます。学園での活動が円滑に行えるよう事務を進めてまいります。よろしくお願ひします。

河又 律子（総務課事務補助）

総務課事務補助を担当します。皆さんの手伝いをしたいと思っています。今年度もどうぞよろしくお願ひいたします。

☆育成課☆

松本 泰弘（副主幹兼育成課長）

今年度の定期異動で育成課長に着任いたしました。私は、行政職のため児童自立支援専門員としての経験は全くありませんが、他の職員の足を引っ張らないよう少しでも早く仕事に慣れたいと思います。

石田 博英（男子第一寮長）

男子第一寮長二年目になりました。今年度もコロナに負けず、子どもも職員も元気に笑顔絶やさず過ごしていきたいと思っています。病氣、怪我には気をつけて毎日子ども達の顔が見られるよう、体に気をつかいながら頑張ろうと思います。

島野 紘子（男子第一副寮長）

男子第一寮担当の島野です。今年も一寮はみんな元気です。一生懸命な中にも笑いあり、悩みあり、日々成長しています。一寮の子ども達も、安心して生活ができるよう、努めていきたいと思っています。

松田 充修（男子第一寮）

昨年度は白井寮長から誘われて、登山初心者にして男体山の頂上までいきました。とても疲れましたが、達成感しかありませんでした。今年度は体力や装備を充実させて那須岳に行きます。何事も基礎と準備が大切ですよね。

福田 真雄（男子第一寮）

今年度も引き続き男子第一寮担当です。子ども達に負けないように、元気いっぱい頑張りたいと思います。今年もよろしくお願ひします。

片岡 美咲（男子第一寮）

四月から男子第一寮に異動し、環境の変化にもやと慣れてきました。女子と男子という差はありますが、引き続き全体を重んじつつも、一人一人を大切にす関わりを心がけていきたいです。心理職としても貢献できるように頑張ります。

塩山 元（男子第一寮）

今年度も男子第一寮を担当するこ

とになりました。部活動は卓球部を担当させていただきます。ここ数年はコロナの影響で大会が実施されませんでした。今年こそは子ども達に大会を経験させられることを願っています。

地神 遥平 (男子第一寮)

今年度より那須学園勤務となりました。去年までは小学校に勤務しており、学園での仕事は初めてのことだらけですが、何事にも一生懸命取り組んでいきたいと思っていますので、よろしくお願いします。

上坪 聡 (男子第二寮長)

今年度も引き続き男子第二寮の寮長を担当します。「やるべき事を丁寧に取り組む」を基本に、責任ある行動をとることが出来る児童を目指して支援していきたいと思っています。よろしくお願いします。

中島 典昭 (男子第二副寮長)

男子第二寮配属の中島です。今年度も大人の不完全さの範を示し子ども達と共に「頑張って生きていく時間」を共有していきたいと思っています。そんな生活のなかで子ども達の感情を刺激し、お互いの心が揺さぶられることがあればと思います。

石口 謙 (男子第二寮)

昨年に引き続き男子第二寮担当となりました。今年度は四月から外部での仕事も入ったため、子ども達と過

ごす時間は限られます。その分時間を空けた立場で子ども達の成長を見守ってゆきたいと思っています。

吉永 雅子 (男子第二寮)

男子第二寮を担当します。育休から約四年ぶりに復帰しました。久しぶりのため一つひとつ記憶を思い返しながら日々ですが、思えば十数年前、那須学園の職員としてスタートを切ったのも男子第二寮でした。初心を忘れず精一杯頑張ります。

齋藤 隆 (男子第二寮)

今年度も男子第二寮を担当します。子ども達と一緒に時間を過ごすことを大切にしていきたいと考えています。

野澤 篤士 (男子第二寮)

今年度も引き続き男子第二寮を担当させて頂きます。寮職員としてはもちろんのこと、今年度は心理職員として、より一層お役に立てればと考えています。まだまだ至らないことばかりですが、精一杯頑張りますので、ご指導よろしくお願いします。

馬籠 明子 (男子第二寮)

今年度も男子第二寮を担当します。この季節の学園は新緑と花々が広がり、自然の空気を一杯に感じます。最近ツバメの巣作りを子どもと見えています。子ども達の成長に負けないよう、一緒に頑張りたいと思います。

白井 聡 (女子寮長)

女子寮長の白井です。職員のみならずで安心した生活のできる、明るいな雰囲気寮集団を作っていきたいです。昨年学んだことを今年はいかしていきます。パワー！

早川 和美 (女子副寮長)

女子寮四年目になりました。今年度はバレー部、水泳部、吹奏楽部を担当します。バレー部では、子ども達とリズムスクワットし、筋肉痛になり、回復するのに四日かかりました。着実に歳を重ねていることに気がきました。気持ちだけは負けないよう頑張ります。

小鍋 良和 (女子寮)

今年度も引き続き女子寮を担当します。部活動は水泳部と陸上部の監督をすることになり、これで女子寮の全ての部活動監督をコンプリートです。また一年歳を重ねてしまいましたが、何事も子ども達に負けないように全力投球で頑張ります。

宇梶 良平 (女子寮)

今年、男子寮から異動し、女子寮担当となりました。心理職として子ども達の問題に真摯に向き合いながらも、子ども達と一緒に学園生活を前向きに取り組みたいと思っています。一年間よろしくお願いします。

黒川 将希 (女子寮)

今年から、初めての女子寮担当となりました。そして、初めてのバレーボール部監督。正直、毎日ドキドキです。人間関係の複雑さ、観察していて興味深いです。負けず嫌いな性格なので、何でも一番な女子寮を目指します。

齋藤 敦子 (女子寮)

今年度も引き続き女子寮を担当します。昨年は戸惑いながら過ごした日々でしたが、子ども達とコミュニケーションをとりながら成長できたと思います。年齢的にはきつい時もありますが、まだまだ頑張ります。

越沼 ひより (女子寮)

五月一日より女子寮で、働かせていただいている越沼です。座右の銘は「不屈」です。元気に明るく、学園での活動を頑張ります。ご指導よろしくお願いします。



☆分校職員☆

松山 恭介 (教頭)

この春で勤務三年目となりました。

少し、足元も見えてきましたので、更に那須学園と沢分校の連携が円滑に運営できるよう微力ながら日々励みたいと思います。

葛西 宏行（教務主任）

今年度、この分校に赴任しました。施設内にある学校というのがイメージできず、また、中学校の教務主任も初めてですので、戸惑いしましたが職員の皆様が親切に教えてくれ安心しました。早く慣れて子ども達としっかり向き合い頑張りたいと思います。

植木 香織（国語科、家庭科）

国語と家庭科を担当します。分校五年目です。ここまで来たら、十年くらい分校で働きたいと思っています。よろしくお願いします。

君島 剛（数学科、生徒指導）

今年度も分校で生徒指導を担当します。部活動はバレーボール部の手伝いをさせていただきます。教科はほとんどの生徒が苦手な数学（算数）です。一人でも多くの生徒が自立できよう支援していきたいと思えます。

芳賀 毅（保健体育科、特別支援）

分校勤務四年目になりました。特別支援と久々に保健体育科の授業を主に担当します。また、陸上部男子

や体育委員会を担当します。三年間の経験を生かしつつ、向上心をもって何事にもチャレンジしていきたいと思えます。よろしくお願いします。

阿久津 智彦（理科、技術科）

沢分校勤務二年目となりました。今年度は、理科に加え技術科の授業も担当しています。今年度も新型コロナウイルスが次々と変異し、終息する気配がありませんが、生徒と一緒に心身ともに変化（成長）していきたいです。

豊田 悠樹（英語科、学習指導）

分校三年目の勤務となります。学習指導主任として、子ども一人一人の学力向上に努めたいと思います。そのためには、個々に合った学習支援が必要です。職員全員が共通理解のもと、ONE TEAMで指導にあたりたいと思います。

古口 悟史（社会科）

今年度、中学三年生の担任となりました。担当教科は社会科です。三年生の担任として、生徒が前向きに進路実現に向かえるよう指導をしていきたいと思えます。よろしくお願ひいたします。

岸 直子（養護教諭）

分校の養護教諭です。二年目です。田植えや稲刈り、畑作業のほか、柿

や栗、胡桃もたわわに実る自然豊かな環境で、貴重な経験を子ども達とさせてもらっています。子ども達が心身とも成長し、変容した姿がみられるよう支援していきたいと思えます。

石栗 幸枝（学習支援）

今年度も分校で学習支援を担当します。生徒達が楽しい分校生活が送れるよう支援していきたいと思えます。よろしくお願ひします。

☆行事報告☆

「サツマイモ植え」

五月六日

五月六日に行われたサツマイモの苗植えは、天候もよく、絶好のコンディションの中で実施することができました。作業前にはマルチの張り方の指導を受け、その後、苗が根付きやすい「斜め植え」で計一〇〇本の苗を植えました。各寮とも作業が順調に進み、予定した時間よりも早く終わらせることができました。その後、苗に水やりと除草をして活動を終わることができました。生徒達は、普段の授業では見せない表情で、一生懸命に活動しており、充実した体験ができ、今から秋の収穫が楽しみです。ジャガイモや里芋はそのまま植えるが、なぜサツマイモは葉のついた茎を植えるのか疑問に思っ

ている生徒がいました。すべて茎の部分を植えていることを伝えると理解したようでした。理科の授業で学習する栄養生殖とも、深い学びにつながったと思えます。

「田植え」

五月二〇日

五月二〇日に田植えを実施しました。今回の田植えのテーマは「一体感」。児童・職員全員で一致団結して活動することがねらいでした。当日を迎えるまでに、中卒生が種まきをし、苗を育てたり、田んぼに肥料を撒いたりと全職員で協力しての田植えとなりました。当日は天候にも恵まれ、全員が横一列に並び、紐に付けた印に合わせて手植えしました。最初は慣れない作業に時間がかかりましたが、徐々にペースが上がり当初の目標以上に進めることができました。子ども達の振り返りの作文の中にも、自分たちで植えたことへの達成感や充実感、またもつとやりかけた等の言葉がありました。今回の田植えを通して、子ども達は、お米を育てることの大変さを知るだけでなく、仲間と協力して活動することの楽しさを体感できた良い機会となりました。



「春の遠足」

五月二八日

五月二八日、春の遠足が行われました。当日を向かえるまでは連日素晴らしい快晴が続いていたのですが、その日に限って朝から豪雨になるという事態に見舞われました。子ども達と引率職員の日頃の行いが良かっただけにシヨックも大きかったです。しかし午前と午後の順路を変えたことで午後には太陽が顔を出し気持ちよくハイキングをすることが出来ました。乃木神社では歴史や神妙な雰囲気に触れ、千本松牧場では思い思いのスイーツを買い、つつじ園では雨上がりの高原の清々しさを感じながらつつじの香りが漂う那須連山の絶景をパノラマに散策することができました。また昼食時にはマナーのよろしくない児童がおり殺生石の中に九尾の狐とともに封印されそうになっていました。幸か不幸か殺生石は真つ二つに割れており封印されずに済みホッとしていました。

今思うと昼食時のマナー違反は割れた石から逃げ出した九尾の狐の仕業だったのかもしれない。朝からの豪雨、急な順路変更がいくつもありませんでしたがこどもの感情と五感を刺激する遠足であったと思います。そして何よりも「環境の変化や予定の変更能耐えられるようにする力」を存分に刺激して一層伸ばす遠足であったことは間違いありません！

☆部活動報告☆

「バレーボール部」

いよいよ、バレーボール部がスタートしました。今年度始めのバレーボール部は、昨年度の経験者がほとんど残らず、子どもは三人のみ。監督も替わり、心機一転新たなスタートとなりました。初めはとにかく基礎トレーニングと声出しの日々。基本的なパスやレシーブの練習を何度も繰り返し行いました。円陣パスも十回くらいしか現状は続きませんが、これからどこまで成長していくのか楽しみなチームでもあります。仲良し三人組の呼吸はばっちり揃っているの、私生活の関係性を、上手にバレーボールにも活かすことが出来れば、それはこのチームの最大の武器になると思っています。五月に新たに部員も加わり、四人全員で助け合いながら、一つのボールを必死で追いかけていきたいと思えます。監督の私自身、バレーボールの経験が

ないため、日々練習の毎日ですが、周りの先生方の協力を得ながら、応援される明るいチーム作りを目指していきたいと思えます。

「野球部」

二月中旬からスタートした野球部も、最終目標である関東大会まで残りわずかとなりました。今年の野球部は、経験者が一名のみで、その他の児童は那須学園に入るまでは、全く野球をやったことのない素人です。二月から四月までは基本的な練習の繰り返し。ボールの握り方から、バットの持ち方まで一から練習してきました。子ども達は「なぜこんなに同じことばかりを繰り返すのだろう」と疑問を持ちながら活動していたことと思います。五月下旬、他県の施設との練習試合に挑みました。日頃から「練習は嘘をつかない。練習で出来ないことは、試合でも出来ない。」と伝えられていたことの意味を理解する良い機会になったと思えます。練習試合以降の子ども達は、取り組む姿勢が変わってきました。取り組まされる練習から、自ら取り組む練習に変わったのは、子ども達の成長だと感じました。今年の野球部は、決して強いチームとは言えませんが、前向きに取り組める良いチームです。胸を張って、野球部が終わる最後の日を迎えられるよう、頑張ってくれることを期待しています。

「吹奏楽部」

五月から今年度の吹奏楽部がスタートしました。那須学園では小学生から中卒児まで全員が吹奏楽部に参加しています。昨年度の吹奏楽部を経験している子もいますが、楽器に触るのすら初めての子もいます。そこに分校の教員や寮の職員なども加わり、まさに学園一丸となって取り組んでいる活動です。年々入所児童は減り、児童の抱える問題も多様化するなかで吹奏楽部の活動を継続していくことにはたくさんの課題があります。ですが、この施設でこういった文化的な活動を行うことには大きな意味を感じますし、スポーツと同様に吹奏楽を通して一人ひとりが自分と向き合い、壁にぶち当たりながらも挑戦を続け、全員で力を合わせて一つの作品を作り上げたとき、本人たちだけでなく聴いている人々に大きな感動をもたらすことができます。そんな経験を一度でも子ども達に味わってほしいと思っています。さて、まずは徹底的な基礎練習です。今年はどうなるか吹奏楽部になるのか、皆様お楽しみに。

「今後の予定」

- 七月
- 一五日 流しそうめん
- 一九〜二〇日 海浜宿泊学習